



ほこた 社協だより

第 67 号

平成29年12月31日発行

発 行 者

社会福祉法人

銚田市社会福祉協議会

会 長 鬼 沢 保 平

編 集

調 査 広 報 委 員 会

■ ほこたの福祉 ■

社会福祉法人 銚田市社会福祉協議会 茨城県銚田市当間228 TEL 0291-32-5831

ホームページアドレス <http://www.hokotashakyo.or.jp>

みんなの笑顔がこぼれるよ



赤い羽根
共同募金

スマイルフェスティバルinほこた

9月30日(土)銚田総合公園体育館において「スマイルフェスティバルinほこた」を開催しました。この事業は、市内在住の障がい者の方とそのご家族を対象に障害者支援事業の一環として毎年実施しています。今年もたくさんの皆様にご参加いただき、レクリエーションや水戸工業高等学校ジャズバンド部による演奏会を楽しみました。地域の皆様との交流を通じて、会場がたくさんの笑顔で溢れた一日でした。

目 次

- P 2 / 3 トピックス
 - ・身体障害者スポーツ大会
 - ・チャリティー昼食会
 - ・親子日帰り研修会
 - ・茨城県社会福祉大会
 - ・茨城県身体障害者福祉協議会
設立50周年記念式典
ボランティアスキルアップ講習会
- P 4 / 5 福祉の「め」
- P 6 ともえ荘40周年記念事業
平成29年度赤い羽根共同募金運動
平成29年度会員会費加入追加報告及びお詫びと訂正
お知らせ
- P 7
 - ・新入学児童祝品事業
 - ・全国障害者スポーツ大会2017
 - ・スマイルハウス移転
 - ・多くの善意をありがとう
- P 8 保育所(園)幼稚園児の作品
手と手をつなぐ地域づくり(安塚区)



赤い羽根
共同募金

このマークのついている事業は、赤い羽根共同募金が活用されています。

トピックス

✳️身体障害者スポーツ大会開催!!✳️



10月14日(土)神栖市波崎体育館において、鹿行地区身体障害者スポーツ大会が開催されました。鹿行地区各市から参加者が集まり、レクリエーション等を行い、各市の参加者・ボランティアの方々とも交流を深めることができました。また、今回初めてポッチャの体験を行いました。誰でもできると楽しく競技を行っていました。大会の結果、銚田市は、2位になりました。

✳️おいしい笑顔 チャリティー昼食会✳️

11月2日(木)に銚田市飲食店組合の開催するチャリティー昼食会に地域活動支援センターのぞみとスマイルハウスの利用者が招待を受けました。

この昼食会は、銚田市ががんばる商店支援事業の一環として実施され、障がいを持つ方々に、銚田市の特産物の味を楽しんでもらいたいとのことで開催されました。

メニューは、まごころ豚丼、海鮮丼、しじみ汁、ほこまるドックと、品数も多く、どれもすばらしい味でした。

おいしい食事をとりながら楽しく会話を楽しみ、皆、笑顔がこぼれていました。

同組合からは、過日行われました「うまかっぺフェスタ」で寄せられた募金の預託もしていただきました。

ご協力いただきました店主の皆さん、本当にありがとうございました。



✳️親子日帰り研修会✳️

11月12日(土)に銚田市手をつなぐ育成会では、鹿島特別支援学校銚田支部の皆さんと親子日帰り研修会を実施しました。今年は栃木県の「とちのきファミリーランド」と「道の駅みぶ」に行ってきました。当日は天候にも恵まれ、会員さん同士はもちろん鹿島特別支援学校の皆さんとの意見交換など、有意義な時間を過ごすことができました。





❖ 茨城県社会福祉大会 ❖

◆茨城県知事表彰

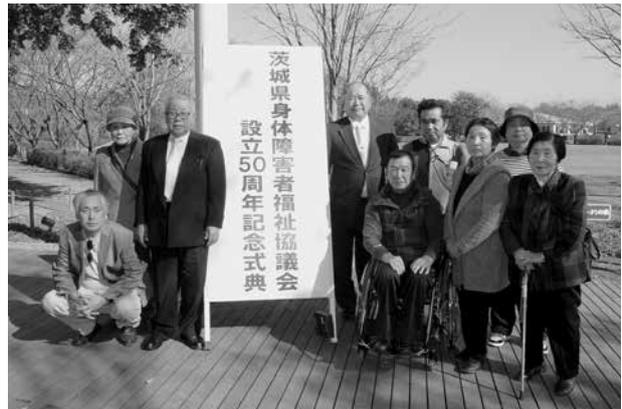
大槻たみ子 氏 黒崎かつ江 氏
 藤原 昌三 氏 愛点子
 鉦田市地域活動支援センター スマイルハウス

◆茨城県社会福祉協議会長表彰

要 宣子 氏 榊原とき子 氏
 野本 洋 氏
 鉦田市更生保護女性会
 鉦田市食生活改善推進員協議会
 にじいろのさかなの会
 若葉クラブ

11月8日(水)常総市地域交流センター「豊田城」において、茨城県社会福祉大会が開催されました。多年にわたり、社会福祉において発展・功績があった方々の表彰と記念講演が行われ、鉦田市からは次の方々が表彰されました。

❖ 茨城県身体障害者福祉協議会 設立 50 周年記念式典 ❖



11月9日(木)小美玉市四季文化館「みのーれ」において、茨城県身体障害者福祉協議会設立50周年記念式典が開催されました。鉦田市から次の方々が登場されました。

○茨城県知事感謝状

米川 正典 氏

○茨城県身体障害者福祉協議会

会長感謝状

石山 寛義 氏
 戸沢しめ子 氏
 大山 廣子 氏



参加者からは『防災への意識が変わった』『家族で防災の意識を高め「いざ」という時にどう対処したらよいか、家族間で考える機会とした』などの感想があげられ、日頃の防災に役立ってくれることと思います。

赤い羽根
共同募金

❖ ボランティアスキルアップ 講習会開催 ❖

〜ごきょうごうのために私たちにできるJALP〜

11月21日(火)、30日(水)の2日間にわたり

防災をテーマにボランティアスキルアップ講習会を開催しました。延べ43名のボランティアの方が参加され、1日目はNPO法人茨城県防災

士会の野村彰氏を講師に招き、災害への備えやロープの縛り方などについてご指導いただきました。

2日目は東京臨海広域防災公園(そなエリア東京)において「東京直下72hツアー(地震発生後72時間の生存力をつける、体験学習ツアー)」を疑似体験しました。

福祉の「め」

福祉体験から 考えたこと



旭西小学校 4年 栗橋 凜夏

私は、アイマスク体験を通して、目の不自由な人の気持ちを考えることができました。アイマスク体験で、一番こわいと思ったことは、かいだんを降りる時です。かべに頭をぶつけたり、だん差がどこにあるかわからなかったり、びくびくしていました。でもガイドの友達が、やさしく親切に手を引いてくれたので、安心して前に進むことができました。また、くつ箱でくつをはきかえたり、水道で手を洗ったりする時も、どこに何があるか分からなくてとても困りました。その時も、ガイドの友達が、分かりやすく説明してくれたので、くつをは

きかえたり、手を洗ったりすることができました。目が見えないと、自分一人では何もできませんでした。ガイドがいたから本当に助かりました。次は、わたしがガイドになる番です。わたしは、友達の気持ちを考えて一生けん命に教えました。とまどうこともあり、ちゃんとガイドができたか心配でしたが、体験が終わった時に、友達から「ありがとう。」と言ってもらえたのでうれしくなりました。そして、わたしは、目の不自由な人にとって、生活しやすい工夫とガイドの代わりになるもうどう犬について調べました。わたしたちの身の周りには、点字や音声ガイドなど様々な工夫があることがわかりました。また、日本にはもうどう犬が千頭ぐらいいしくないのです。もうどう犬を待っている人がたくさんいるということもわかりました。わたしは、目の不自由な人がみんなと同じように困らな

私の大切な家族



野友小学校 6年 額賀 彩花

「行ってらっしゃい。」

私と妹が登校するとき、家族全員で見送ってくれます。いつも私たちがをあたたく見守ってくれる、やさしい家族です。

お母さんは、いつも私のことを考えてくれていて、毎日栄養バランスを考えたおいしいご飯を作ってくれます。また、なやんでいるときは相談に乗ってくれます。いつも笑顔ではげましてくれる、ステキなお母さんです。

お父さんは、いつも夜おそくまで働いて帰ってくるので、

とても大変だなと思います。私たち家族のために働いてくれているので、とても感謝しています。おこったときはこわいけど、休みの日には、お出かけに連れていってくれる。私の自まんのお父さんです。

妹は、けんかするときもあるけど、いつも私のあとをついてきてくれる、かわいい妹です。

おじいちゃんは、いつも畑や家の仕事をしてくれています。また、先日、私が銚田市青少年の主張大会に出場したときには、私の練習にたくさんつきあってくれて、上手に発表するためのアドバイスもしてくれました。とてもたよりになるおじいちゃんです。

おばあちゃんは、学校から帰った私に、おいしいおやつを用意して待っていてくれます。また、私のことをよくみていてくれて、ほめたり、時には心配して声をかけてくれたりします。とてもやさしいおばあちゃんです。

私は六年生になって、様々なことに挑戦することができました。それは家族みんなが私を支えてくれたからです。

おおばあ ありがとう



串挽小学校 5年 郡司 遥佳

家族への感謝の気持ちをわすれずに、これからも頑張りたいです。

私の大好きな百一才のおおばあが、十一月に天国へ旅立ちました。元気だったおおばあが、肺炎で体調をくずして入院してから、私は何度もおおばあ所へ行き、また元気になるよう、手をにぎったり声をかけたりして、一生けん命病気の回復を願いました。おおばあは、呼吸が苦しそうなときでも私のことに気がついて、笑顔を見せてくれたり手をにぎり返してくれたりしました。おおばあは最後まで生きる力を振りしほって、精一杯生きることを私に教えてくれたのだと思います。

私が生まれたとき、おおばあは九十才。ひ孫の私のこと

を、とてもかわいがってくれました。小さい私にお手玉やあやとりを教えてくれたり一緒に散歩したりと、楽しい時間を過ごしてきました。そのころ、おおばあは、「遙佳が小学校に入るまで生きていたいな。」とよく言っていたそうです。

先日、学校の福祉学習で老人ホームへ行き、おじいちゃん、おばあちゃんたちとふれ合う機会がありました。私たちと遊んでうれしそうに笑うおばあちゃんたちを見ると、まるでおおばあがそこにいて笑っているような気がして、とてもうれしくなりました。十一才の私にとって、家族の死、身近な人の死というのは生まれて初めての経験で、悲しい気持ちとおおばあへの死を信じられない気持ちの頭の中をめぐりました。大好きなおおばあが亡くなって、「これから、私がおおばあのためにできることは何だろう。」と、いろいろ考えました。そこで私が思ったこと、それは、おおばあのことをずっと忘れないこと。それが、私にできるおおばあへの恩返しです。「お

おばあ、今まで本当にありがとう。ずっと忘れないよ。」

福祉について



上島西小学校 6年
勢子愛花

私は、福祉という言葉聞いて思いつくことがあります。

一つ目は、犬です。盲導犬は、目の不自由な人と一緒にいて、その人の目となって働きます。聴導犬は、耳の不自由な人のために、いろいろな音を聞き分けて知らせ、その人の耳となって働きます。介助犬は、身体の不自由な人のために、物を取るなどして、その人の手足となって働きます。

こうした犬達は、子犬の頃から特別な訓練をして育てられますが、すべての犬がなれるわけではなく、なれたとしても、その後、パートナーとなる人も訓練をします。犬も訓練をする人も大変だなと思いました。

二つ目は、老人介護の問題です。私は、三才まで曾祖母と暮らしていました。曾祖母は九十四才で亡くなるまで、自分で部屋の掃除や洗たくをしていました。ご飯も特別なものではなくみんなと同じ物を食べていました。私はすごいことだと思いました。

私の母は、介護施設で働いていたことがあります。こん立を考えて食事を出したり、日常生活の介護をしたりしていたそうです。夜勤の仕事もあり、大変なこともあったけど、楽しかったそうです。

この前、私達六年生は、インスタントシニア体験で足に重りをつけて歩いたり、手にゴム手袋を指にはテーピングをして字を書いたり、身体の不自由な人の日常生活の体験をしました。とても大変でした。また、老人介護施設を訪問して、お年寄りの方々と交流もしました。歌を歌ったり、昔の遊びをしたりすることができ、良い経験をしました。これから、福祉についていろいろ勉強したいと思います。

障がいの有無とは



銚田南中学校 3年
大貫まこ

私は最近、左手のない少女を見かけました。「とても可愛い子だな」と思いました。でも、小学生の弟は「可愛い」ではなく「あの子、片方の手がないよ。」と驚いた様子で言いました。

その時、弟がその子を差別しているように見えた私は「だから、何。」と怒り気味で答えました。弟は下を向いて黙り込みました。こんな経験をした私は障がいのある人のことを差別的にみる人が身近にいるのを知り悲しくなりました。「同じ人間同士なのに」と。

日本には障がいのある人を差別的にみる人がいます。でも障がいの有無なんて関係なく同じ人間として助け合っていることと考える人もたくさんいます。「二十四時間テレビ」という番組では障がいのある

人や重い病気を抱えている人を取り上げて放送しています。それは障がいのある人もない人も平等だという事を視聴者に知ってもらうための番組だと思っています。

そして、夢や希望を叶える番組でもあります。それ以外にも目標を持つ人がとりあげられることがあります。パラスピックです。競技をしている選手全員が金メダル獲得という目標を実現させるための大会です。それを見ることによって、たくさんの人が夢や希望を与えてもらっています。その大会に出ている選手は世界中の人の交流や国同士の仲も深めています。それと同じで人と人も障がいの有無は関係なく支え合って生きていく。

これは世界中の誰もが当たり前のように知らなければならぬことだと思っています。人間は皆平等なのです。障がいの有無なんて関係なく同じ人間として仲良く支え合っているような社会になればいいなと思います。

ともえ荘 40 周年記念事業



鉾田市老人福祉センターともえ荘（第2ともえ荘）は昭和52年7月に開設され、今年度40年を迎えました。10月15日（日）、11月15日（水）に、長きにわたるご利用に感謝の気持ちを込め40周年記念事業を実施いたしました。

当日、来場者には焼き芋やポップコーンが無料配布されました。

また、アトラクションとしてあかつき保育園の園児によるお遊戯の発表、ボランテニアによるフラダンス、日本舞踊の発表やお茶会があり、最後には大抽選会が実施され、いつも以上に賑わいをみせました。これからも、ともえ荘に対し、変わらぬご愛顧の程をよろしくお願いいたします。

平成29年度 赤い羽根共同募金運動 募金活動にご協力ありがとうございました。



平成 29 年 10 月 1 日から 12 月 31 日まで市内全域ですすめてまいりました赤い羽根共同募金運動では、たくさんの皆さまのご参加・ご協力をいただき、誠にありがとうございました。心よりお礼申し上げます。

お寄せいただきました募金は、茨城県共同募金会を通じ平成 30 年度鉾田市内で行われるさまざまな福祉事業や、茨城県内の社会福祉施設の充実や災害等準備金として活用されます。

今後とも、茨城県共同募金会鉾田市支会、並びに鉾田市社会福祉協議会の地域福祉活動にあたたかいご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

※平成 29 年度共同募金運動実績報告並びに寄付者名簿は、後日回覧等でご報告させていただきます。

平成29年度 会員会費加入追加報告とお詫びと訂正

社協だより第 66 号（9 月末発行号）以降に、会費加入の追加がありましたので、ご報告いたします。（敬称略）

追加報告	一般会員	88,000 円		
	特別会員（7 口）	藤野 力雄	山田賢一郎	郡司 光一
	井村 浩一	志賀 涉	山越 栄	郡司自動車サービス
	団体法人会員（4 口）	アップル車検（株） ホソヤ自動車	鉾田ライオンズクラブ （3 口）	

社協だより第 66 号（9 月末発行号）に誤りがありました。訂正し、お詫びいたします。

お詫びと訂正	特別会員（5,000 円 / 1 口）
	（誤）山口 杏一 ⇒ （正）山口 吉一
	団体・法人会員（10,000 円 / 1 口）
	（誤）土井工業所（株） ⇒ （正）（株）土井工業所

お知らせ



新入学児童祝品事業

社協では、ひとり親世帯及び両親のいない子の世帯に対して、小学校入学準備に伴う学用品購入経費の一部について援助を行っています。

対象者 銚田市内に住所を有する小学校入学児童と同居する世帯の養育者で、次の各号のいずれかに該当する世帯とします。

- ※平成30年2月15日現在
- ①ひとり親世帯（母子・父子世帯）
- ②両親のいない子の世帯

申請方法 社協本支所に設置してある申請書に記入し、申請する。

祝品内容 小学校新入学児童1人につき、図書券20,000円相当を支給します。

支給方法 養育者の居住する担当民生委員より支給する。

その他 詳細につきましては、各小学校の入学説明会でチラシを配布いたしますのでご覧ください。

全国障害者スポーツ大会2017～笑顔つなぐえひめ大会～ 金メダル獲得!!



去る10月全国障害者スポーツ大会2017が愛媛県で開催され、銚田市から石山寛義選手がアーチェリーの部で出場し、優勝・金メダルを獲得しました。

地域活動支援センター スマイルハウスが移転しました。

10月より地域活動支援センタースマイルハウスは、老人福祉センターともえ荘内に移転しました。



多くの善意をありがとう

期間：平成29年9月11日～12月10日現在

善意金

- 福祉一般へ預託
- 篠原 幸男さん 10,000円
- 銚田地区民生委員児童委員協議会(9月、11月) 6,657円
- セイミヤ舟木店(募金箱) 12,105円
- AGC(旭ゴルフクラブ) 60,000円



銚田ライオンズクラブ 70,000円



銚田市飲食店組合 21,377円



- ほこた農業協同組合 代表理事組合長 長峰茂通 生産部会ゴルフ大会会長 内田 政輝 65,000円



- 塔ヶ崎区(お楽しみ会) 11,730円
- 安塚区 5,100円
- 東野区公民館まつり 27,700円
- 借宿老人クラブ 4,756円
- 匿名 6,406円
- 匿名 50,000円

- その他(ともえ荘事業)へ預託
- 堤 清さん 5,000円

善意品

- 大沼 清一さん トイレットペーパー2箱
- 富田 茂樹さん 傘13本
- 篠原 幸男さん 車いす
- 茨城県退職公務員連盟鹿島支部 大洋地区会員一同 タオル68本
- (有)鹿行段ボール トイレットペーパー 96ロール入10箱
- 茨城県退職公務員連盟鹿島支部 銚田地区会員一同 タオル、石鹸等 計448点

- 匿名 未使用切手80円32枚、50円23枚
- 匿名 菊鉢植え2個
- 匿名 タオル、風呂敷
- 匿名 タオル168本
- 匿名 米30kg
- 匿名 タオル48本
- 匿名 もち米30kg

使用済切手・テレフォンカード等

- 大川 賢司さん 使用済切手
- 浅沼 敏子さん 使用済切手
- 門井 重壽さん 使用済切手
- 銚田地区民生委員児童委員協議会 使用済切手
- (有)小沼農機商会 使用済切手、使用済カード18枚
- 徳宿女性会 使用済切手
- たいようクリニック 使用済切手
- 茨城県退職公務員連盟鹿島支部銚田地区会員一同 使用済切手761枚
- 銚田舟木郵便局 使用済切手
- (株)米川商事 使用済切手
- 銚田市役所 税務課、介護保険課、社会福祉課 使用済切手
- 匿名(8名) 使用済切手





旭保育園 4 歳児
(すみれ 1 組・すみれ 2 組)

「家族へ感謝してごまじはせ」
保育園の送迎をしてくれる事…
ごはん、お弁当を作ってくれる事…
好きな物を買ってくれる事…
「頑張ってるね」と応援してくれる事…でした。
笑顔いっぱい「ありがとう」と伝える子ども達の姿を表現しました。

保育所(園) 幼稚園児の作品

あどけない子どもたちが、絵をとおして福祉の「め」を育むことも大切です。
市内の保育所(園)や幼稚園にご協力をいただいております。



「だいすき」

友達との絆をハートで表現しました。
保育園生活、みんなで過ごした時間は宝物です。
これからたくさん愛を持ったステキなお兄さん、お姉さんになってね！

大洋保育園 5 歳児



「輝く未来へ向かって」

子ども達の笑顔の花がいっぱいの花畑。
お友達と心をつなぐ虹のかけ橋。これからも仲良く
すごし楽しい思い出を作っていこうね。

とりのす保育園 4～5 歳児

手と手を つなぐ 地域づくり

(地域福祉活動推進事業)



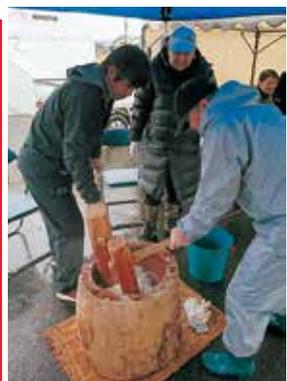
社協では、地域が自主的に実施する交流事業や健康づくり事業等に対して補助金を交付しています。今回はその中から一地区をご紹介します。

コミュニティセンター秋祭り (安塚区)

安塚区住民が地域の中心であるコミュニティセンターに集い親睦を深めています。毎年十一月二十三日(勤労感謝の日)に行い、今年で十回目を迎えました。

今年はいにくの雨でしたが、前日からみんなで力を合わせ、自慢の料理をふるまいます。
けんちん汁、ヤキソバ、いなり寿司、みそ田楽、もちつき、ポップコーン等みんなで舌鼓をうちました。
子どもたちは、区長とのジャンケンゲームや全員参加のビンゴゲームで盛り上がり、フ

安塚区長 田口 博基



※掲載地区を募集しておりますので、お気軽にお問合せください。

視覚障害など目の不自由な方へ… 視覚障害など目の不自由な方へ、点字ボランティアが点訳、音訳ボランティアが朗読した「社協だより」をお届けしています。希望される方は、銚田市社会福祉協議会ボランティア活動センターへお申込みください。